

病院の日常的運営と災害時への対応

ご挨拶

名古屋大学では、2008年度から「大学病院施設マネジメント研究会」を開始しており、2011年6月第3回として、3.11の東日本大震災を受け、「病院における事業継続性（BCP）とファシリティマネジメント」のテーマで研究会を開催しました。今回は東海病院管理学研究会と健康デザイン研究会との共催で、同趣旨のテーマについて、医療関係者、建築関係者等様々な立場の方々の参画を期して、より発展的に討議することとしました。

今回特に着目した視点は、「日常と非日常」です。被災時を想定した事業継続性への対応策は、病院にとって最重要課題の一つですが、それに費やされる初期投資や日常の維持点検、訓練体制など、多大な負担がかかります。むしろ日常的に稼働している設備や体制を強化しておき、大規模な災害に見舞われた場合でもスムーズな運用に移行できることが望まれます。幅広い皆様のご参加をお待ちしております。

■開催日時 2012年2月11日（土）

14:00～17:10（開場 13:30～）

■会場 名古屋大学 ES総合館 1階 ESホール

■会費 無料（要申し込み：定員200名）

■研究会次第

14:00 開催の挨拶：名古屋大学 理事・副総長 藤井 良一

趣旨説明：名古屋大学 施設計画推進室室長 教授 谷口 元

14:20～15:50 講演

講演1：「医療現場における事業継続性」

名古屋大学大学院医学系研究科 機能構築医学専攻 准教授 高橋 英夫

講演2：「ファシリティマネジメントの立場で考える事業継続性」

（社）日本ファシリティマネジメント推進協会 ヘルスケア研究部会

竹中工務店医療福祉本部本部長付 上坂 脩

講演3：「病院設計時における事業継続性への対応」

（株）久米設計 設計本部 第1医療福祉設計部 統括部長 柳 雅夫

16:10～17:10 パネルディスカッション

パネリスト：上記講演講師・理事

東海病院管理学研究会 会長 山内一信

（藤田保健衛生大学教授・名古屋大学名誉教授）

およびコメンテーター

司会進行：名古屋大学 施設計画推進室室長 教授 谷口 元

名古屋大学 施設計画推進室 特任准教授 松岡 利昌

■意見交換会 17:30～18:30（会費3000円）

問い合わせ・申込先：2012年2月7日（火）締切

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 施設計画推進室（担当）水谷

TEL: 052-789-3742 E-mail: mizutani.eri@a.mbox.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学ファシリティマネジメント研究会ホームページ：<http://fm.campus.provost.nagoya-u.ac.jp/index.html>